

共に歩む

第3回



グラスウールを使いその位置を決め、通し穴部分の穴あけ工程とシール工程を追加するという工程設計を行った。しかし実際に加工してみると、シ

また、複合断熱パネルとその製造方法について特許出願済み(特開2015-1215020)で

今回は、伊勢崎市の宇和断熱工業と県立産業技術センターで共同開発を行った、「通し穴付真空断熱パネル」を紹介する。

10分の1となる断熱性のくり補助金(12年度も)のづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援ばよいことは分かっていた。しかしながら、使用工程設計や製品評価のた

た。しかしながら、使用工程設計や製品評価のた部を増やすにはコンプめの技術や設備を有する同センターと共同開発を

レッサーなどの配管を通し穴に通し穴を空ける必要があった。通し穴のない従来の真空断熱パネルは、袋状の用でできず、防ぐことは困難であった。

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『群馬県立産業技術センター』群馬産業技術

通し穴付真空断熱パネル

宇和断熱工業

『開発スタート』通し穴のない従来の真空断熱パネルは、袋状の用でできず、防ぐことは困難であった。

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『群馬県立産業技術センター』群馬産業技術センター生産システム係 坂田知昭

『群馬県立産業技術センター』群馬産業技術センター生産システム係 坂田知昭

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

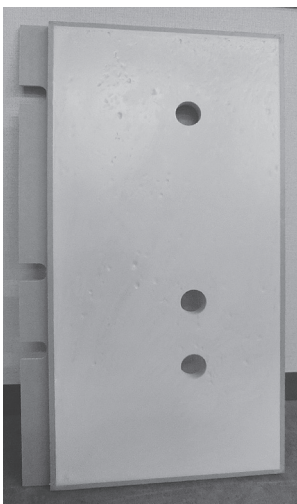
『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその

『課題解決へ』そこで、シールの方法幅の広い面でシールを行っていたため、糸片がシール面に入り込むとその



開発した通し穴付真空断熱パネル